

チャペル週報

No.22

2015.11.16 ~ 11.20

自分の子供たちが真理に歩んでいると聞くほど、
うれしいことはありません。

(ヨハネの手紙三 1章4節)



山川記念館

関西学院宗教センター

地域の中で輝く子ども

千葉 武夫

急速な少子化が進行しています。今20歳の人が産まれた1995年（平成7年）には、約119万人の出生数でしたが、昨年の2014年には約100万人でした。約19万人の差があり激減していることがわかります。また、公園などで子どもが自由に遊んでいる姿もあまり見られなくなりました。小学生は登校する際に集団登校であり、その様子を近所の大人が見守っています。これは、通学路の安全を確保し、不審者から守ることが目的です。子どもを地域で守ることは、とても貴重な営みです。しかし、それがゆえに子どもが通学路で寄り道やみちくさをする機会もなくなっているのも事実です。子どもは、まっすぐに学校に行き、まっすぐに家に帰る。そして、塾へ行ったり、家庭内で遊んだりする。同居する家族の人数も減り、世代間の交流もあまりない中で生活を送っているのです。昔は、地域の人は子どものありのままの姿をじかに感じ、子どもは様々な経験や価値観を持つ地域の人々の中で育っていました。

このような経験を補うために小学校・幼稚園・保育園等では、地域の人や異年齢の子どもと触れあう行事等の機会を設けています。しかし、これが形だけの関係では、教育的な価値もありません。学校や保育園等が地域やそこに住むお年寄り等お互いの生活に溶け込んでいることが求められるのです。これには、教師や保育士が、普段から地域との連携の意味を理解し、日常的な積み重ねが必要となります。

私たちは子どもに、社会で生きていくために「他人に迷惑をかけない」ようにすることを教えてきました。しかし、本当は「他人に迷惑をかけない」ことが人とのよい関係をつくるのではなくて、「他人に上手に迷惑をかける」ことを、子どもに伝えておくべきことではないでしょうか。

子どもは学校を卒園した後も、その地域で生きていきます。子どもがその地域を作り出す存在となるのです。地域の中で、子どものことを多くの方に理解してもらい、期待され育った子どもは、きっと星のように光り輝くことでしょう。子どもが子どもらしく、それぞれの光を自分らしく輝くことができる地域にしていかなければなりません。多くの子どもの星が地域の中で、一つ一つ輝き、大切にされ、調和し、人の心へ届く輝きができることを願っています。

（聖和短期大学学長）

☆チャペル・スケジュール☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

- 11月16日(月) ランバスチャペルアワー ランバス記念礼拝堂 (西宮上ヶ原)
 神 ランバスチャペルアワーに合流
 経 舟木 讓 (宗教主事)
 人 三ツ本 武 仁 (日本基督教団 香里教会牧師)
 聖 聖書物語 エルサレムにやってきたイエス
 理 前川 裕 (宗教主事)
-
- 11月17日(火) 神 梅崎 須磨子 (神学研究科M2)
 文 Jeffrey Mensendiek (宗教センター宗教主事)
 社 人権を考えるチャペル 白波瀬 達也 (社会学部准教授)
 法 音楽チャペル バロックアンサンブル
 経 「人間を考える④」田 禾 (経済学部准教授)
 商 岡田 太志 (商学部教授)
 国 平林 孝裕 (宗教主事)
 聖 久 洋平 (アジア学院ワーク参加者・法学部3年)
 理 前川 裕 (宗教主事)
 総 佐本 朱理 (総合政策学部1年)ほか
 日本キリスト教団東北教区被災者支援センター・エマオ活動報告
-
- 11月18日(水) 神 シリーズチャペル 私にとっての世界市民とは 水野 隆一 (神学部教授)
 法 音楽チャペル ハンドベルクワイア
 経 English Music Chapel Timothy Dale Boyle (Missionary)
 商 音楽チャペル ゴスペルクワイア "P.O.V."
 人 出会い⑭ 牧里 每治 (人間福祉学部教授)
 国 田中 尚美 (神学研究科M2)
 聖 宗教総部献血実行委員会
 理 藤原 正澄 (理工学部助教)
 総 村瀬 義史 (宗教主事)
-
- 11月19日(木) 神 ハンドベルクワイアによる音楽礼拝
 文 Andreas Rusterholz (宗教主事)
 社 宗教総部によるスチューデント・チャペル
 法 水野 隆一 (神学部教授)
 経 献血実行委員会
 商 山本 俊正 (宗教主事)
 国 Sally McLaren (国際学部専任講師)
 聖 収穫感謝礼拝 ミステリーとホープ 中道 基夫 (神学部教授)
 総 関西学院室内合奏団バロックアンサンブル
-
- 11月20日(金) 院 山本 俊正 (商学部宗教主事)
 神 高木 政臣 (神学研究科M1)
 文 English Chapel Andreas Rusterholz (Chaplain)
 経 「人間を考える⑤」古 澄英 男 (経済学部教授)
 人 出会い⑮ 藤井 美和 (人間福祉学部教授)
 聖 児童館実習を終えて 高田 可奈子 (聖和短期大学2年)
 渡邊 夕貴 (聖和短期大学2年)
 理 前川 裕 (宗教主事)

◇ランバス早天祈祷会 毎金曜日 8:20～8:40 ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)
 11月20日(金) 言語コミュニケーション文化研究科のために
 関谷 一彦 (言語コミュニケーション文化研究科委員長)

●ランバスチャペルアワー

学生たちが企画するチャペルです。秋学期の予定は以下のとおりです。

11月16日(月) 聖歌隊&バロックアンサンブルによる音楽チャペル
ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)10:35~11:05

●「秘蔵聖書展」開催のお知らせ

大学図書館で所蔵している貴重な聖書の展示会を行います。展示品は各回で変わります。
(入場無料)

と き:第二部 11月16日(月)~20日(金)
第三部 12月7日(月)~11日(金)
各回10:30~16:00(入室は15:30まで)

ところ:西宮上ヶ原キャンパス大学図書館 1階特別閲覧室
問合せ:大学図書館 利用サービス課

●第201回ランバス演奏会のご案内

リコーダー・アンサンブル「レアール」コンサート

と き:11月19日(木)17:30開演 18:45終演予定
ところ:ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)
主 催:関西学院宗教センター(入場無料)

「レアール」は本学応援団総部吹奏楽部の卒業生が中心となって1997年に結成されたアンサンブルです。

今回はヘルマンハーブ奏者やオルガニストも加えて多彩な編成で様々な時代、ジャンルの音楽をお届けします。

●オルガン音楽の泉 2015 Fall Semester

パイプオルガンの響きに憩うお昼のひととき、どなたでもご自由にお楽しみください。

第7回 11月19日(木) 坂倉 朗子(本学オルガン講師)
第8回 12月4日(金) 太宰 まり(関西学院オルガニスト)
いずれも12:50~13:20(12:40開場予定)

ところ:関西学院中央講堂
問合せ:宗教センター

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アプローチタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、大学院授業期間中の毎週木曜日にチャペルアワーを開催しています。(17:50~18:20 1405教室)

11月主題:「共に生きる-自然・環境・隣人-」
11月19日(木)舟木 譲(大学宗教主事)
11月26日(木)田淵 結(宗教総主事)

●夕べの祈りatランバス~テゼの音楽とともに~

ろうそくの光を灯して、テゼの歌を歌いながら、皆でこころ静かに過ごす夕べの祈りのひとときです。どなたでもご参加ください。

第6回 1月7日(木) 18:30~20:00
ところ:ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)
主 催:夕べの祈り準備会(学生有志)
協 力:関西学院宗教活動委員会

●「関西学院クリスマス at ザ・シンフォニーホール」チケット販売のお知らせ

恒例の関西学院最大のクリスマスページェントが大阪のザ・シンフォニーホールで開催されます。参加費は宗教活動委員会を通して関連団体に献金させていただきます。

開催日時:12月21日(月)17:30開場 18:30開始
参加費:2000円 当日座席指定(16:30より)

チケット販売:関西学院大学生協/チケットぴあ/ザ・シンフォニーチケットセンター/
サークルKサンクス/ファミリーマート